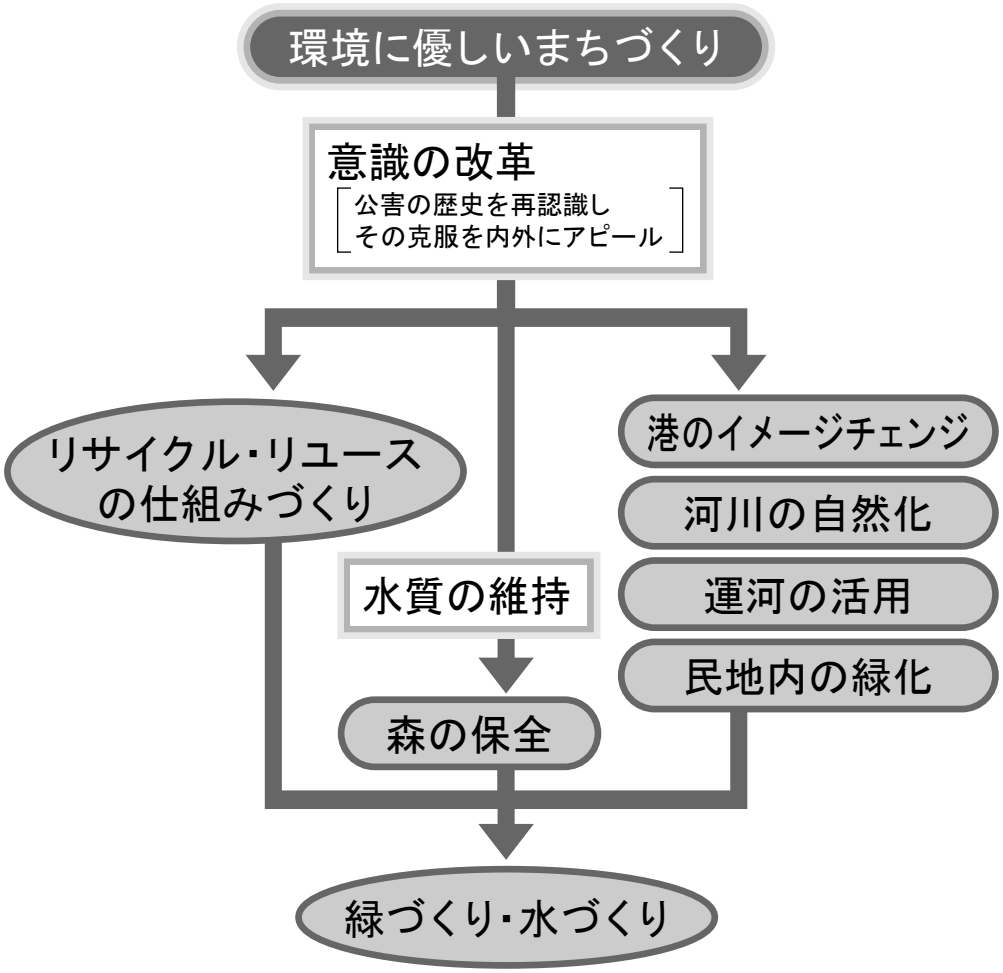
公害の歴史を再認識し、地球環境に優しいまちにしたい

2 環境

(1) 環境に優しいまちづくり

○私たちは、地球環境に優しいまちづくりを実践したいと思います。そのためには、まず、市民全体の意識改革が必要です。意識改革の戦略として、市民が公害の歴史を再認識し、公害克服のための努力を踏まえて地球環境に優しいまちづくりをしていくという考えを持ち、それを内外へ大きくアピールしたらいいと思います。「公害都市」というイメージから脱却するために、港の工業地帯や市街地に緑を増やし、市民が憩い、楽しむことのできる港をつくる必要があります。緑を含めて、太陽や風など、さまざまな自然資源の活用をすることも重要です

○市民、企業、行政が協力してリサイクル・リユースの新しい仕組みをつくり、ライフスタイルの改善とともに、資源の再生に努めることも必要だと思いま

〇河川は自然・緑の豊かな場所として大切にする必要があります。コンクリート張りをやめて、石垣を組んだり、土手などのある、緑豊かで魚や鳥も多く生息する川にして、くつろいだり、魚釣りをしたいと思います。
市街地の中にも美しい小川や親水空間が必要です。運河を活用し、まちの中の水辺空間を豊かにしていくことも考えられます。

〇私たちの大切な飲み水の水質や水量を維持していくことも重要です。そのためにも、森は積極的に保全していく必要がありますし、雨水を地中に浸透させて循環させるような舗装や施設づくりが必要です。